

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けに取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	14	他のグループホームとの交流が少ない。	他施設からの研修(見学)受け入れや、交換留学を実施し、ティアラのサービスの質を同業他者の目からみて評価してもらい、サービスの質の向上につなげる	今年度は、交換見学会を実施する。職員同士の連携が図れるよう、横のつながりを持つ。	12ヶ月
2	4	運営推進会議がパターン化している。	来年度のティアラ目標に沿った内容で、家族を巻き込んだ排泄ケア教室や口腔ケア教室を開催する。もしくは地域を巻き込んだ介護教室や介護予防教室を実施する。	協力医療機関の医師、訪問歯科、出入りのオムツ業者等と連携し、高齢者に多い疾患や認知症、口腔ケアの方法や歯科疾患について、家庭向けの簡単な介護やオムツ選びの方法等についての研修を行えるよう準備する。年間6回の会議のうち少なくとも1度実施する。	12ヶ月
3	13	研修に参加した職員からの伝達研修が弱い。	伝達研修の日程を決めて、レジュメの準備から職員に取り組んでもらい開催する。	研修受講後に作成する研修報告書の提出時に、伝達研修の日程を決めておき、事前に告知する。発表者は準備からすすめ、主任・管理者にチェックを受けた内容で内部研修を実施する。代表者に伝達研修の報告書を提出させ、発表の完成度と受講者理解度を確認する。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。